

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-188656

(P2000-188656A)

(43) 公開日 平成12年7月4日 (2000.7.4)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 2	H 0 4 N 1/00	1 0 2 Z 5 B 0 7 2
G 0 6 K 7/00		G 0 6 K 7/00	U 5 C 0 6 2
H 0 4 N 1/32		H 0 4 N 1/32	Z 5 C 0 7 5

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-376134

(22) 出願日 平成10年12月21日 (1998. 12. 21)

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

(72) 発明者 桑田 耕司

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式

会社リコー内

F ターム (参考) 5B072 BB00 CC24 DD02 MM11

5C062 AA02 AB11 AB17 AB22 AB23

AB38 AB42 AC04 AC05 AC24

AED3 AF01 AF02 BA00 BA04

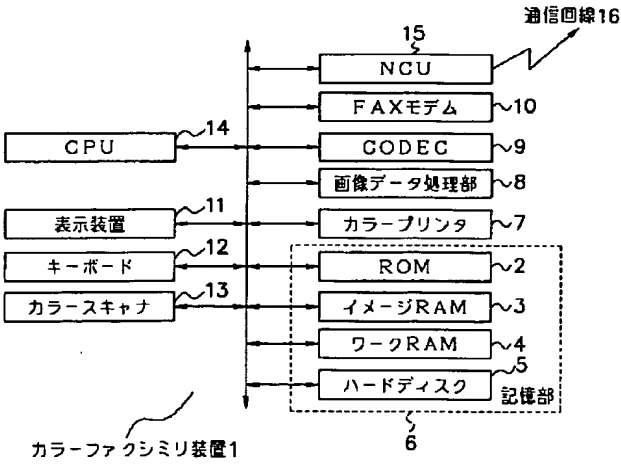
5C075 AA90 BA08 CF90

(54) 【発明の名称】 画像処理装置

(57) 【要約】

【課題】 簡単な操作により、手書きすることなく、宛名や件名等が適正に記載されたファクシミリ送信案内票を相手方に送信し、また、定型的な文章を原稿に記入しなくても、実質的にこの文章が記載された状態での原稿が作成でき、相手方に送信できる画像処理装置を提供する。

【解決手段】 送信原稿に記載されたバーコードをカラーキャナ 1 3 で読み、記憶されているバーコードに対応したメッセージをハードディスク 5 から読み出し、表示装置 1 1 に表示された内容を確認し、キーボード 1 2 を操作して、メッセージ文を選択する。選択したメッセージは、キーボード 1 2 を操作することにより修正することもできる。選択された宛名や件名および定型的な文章は、記入された原稿とともに、相手方に送信される。メッセージ文を登録する場合は、ユーザ設定モードにし、キーボード 1 2 を操作し、装置のもつワードプロセッサ機能を使用する等して、メッセージ文を入力し、対応するバーコード番号とともに、ハードディスク 5 に記憶する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 バーコードを設定するバーコード設定手段と、

前記バーコード設定手段で設定されたバーコードに対応してメッセージを登録するメッセージ登録手段と、

前記登録されたメッセージをバーコードに対応して記憶するメッセージ記憶手段と、

前記設定されたバーコードを読み取るバーコード読取手段と、

前記バーコード読取手段で読み取ったバーコードに対応して記憶されているメッセージをメッセージ文に変換するメッセージ文変換手段と、

前記メッセージ文変換手段で変換したメッセージ文とともに、文書を送信する送信手段を有することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 前記メッセージ登録手段が、複数の定型のメッセージを複数のバーコードに対応して登録することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 3】 前記メッセージ登録手段は、対応するバーコードに対してメッセージのみを変更するメッセージ変更手段を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】 前記メッセージ記憶手段が記憶しているメッセージから必要なメッセージを選択するメッセージ選択手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 5】 前記メッセージ記憶手段が記憶しているメッセージの内容を確認するメッセージ記憶内容確認手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

【請求項 6】 前記バーコードは、バーコードから読み取る数値または、バーコードから読み取る数値およびバーコードの色によりバーコードの認識をすることを特徴とする請求項 1 記載の画像処理装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、送信用原稿の作成を簡略化するとともに、原稿の読み取りをより迅速化した画像処理装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般に従来のファクシミリ装置は、文書を送信する場合、日付や宛名、あるいは送信元、さらには用件を記載したファクシミリ送信案内票を最初に送信し、これに続けて本体文書を送信することが多い。この場合によく行なわれているのは、日付欄や宛名欄をあらかじめ印刷によって設けた定型のファクシミリ送信案内票用紙を用意しておき、宛名欄に手書きで宛名を記入するとともに、件名欄にもその内容を手書きで記入するというものである。そして、挨拶文もあらかじめ印刷されていることが多い。

【0003】しかしながら、同一の送信先に頻繁に文書のファクシミリ送信を行う場合に、上記のようなファクシミリ送信案内票用紙にいちいち宛名を手書きで記入するのは面倒である上に、誤記も生じやすい。また、件名についても、同一の件名に関して、頻繁にファクシミリ送信を行う必要がある場合には、これをいちいち手書きで記入するのは業務効率を低下させる。また、定型の挨拶文をあらかじめ印刷しておく場合もあるが、送信相手によって、この挨拶文を変更したい場合や、省略したい場合も生じる。

【0004】このような場合、複数種類のファクシミリ送信案内票をあらかじめ作成しておいて対応することも考えられるが、保管されている複数種類の送信案内票から適当なものを選択することもまた、煩雑である。また、直接宛名等を印刷したシールを貼り付けた方が簡単な場合もある。しかし、相手先の移動や変更があるたびに宛名シールを作り直す必要が生じ、作ってしまったシールが無駄になることがたびたび発生する。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は前記のような課題を解決するものであり、簡単な操作によって、いちいち手書きすることなく、必要な宛名や件名等が適正に記載された状態でのファクシミリ送信案内票を相手方に送信することが可能であり、また、上記のようにファクシミリ送信案内票に限らず、送信原稿を作成するにあたって、定型的な文章やメッセージをいちいち記入することなく、実質的にこれらの定型的な文章やメッセージが記載された状態での文章を相手方に送信することができ、所望の文章やメッセージを原稿に記入しなくても実質的にこれらの文章やメッセージが記載された状態での原稿を作成でき、さらには作成された原稿を相手方に送信することができる画像処理装置を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するために、請求項 1 の発明にかかる画像処理装置は、バーコードを設定するバーコード設定手段と、前記バーコード設定手段で設定されたバーコードに対応してメッセージを登録するメッセージ登録手段と、前記登録されたメッセージをバーコードに対応して記憶するメッセージ記憶手段と、前記設定されたバーコードを読み取るバーコード読取手段と、前記バーコード読取手段で読み取ったバーコードに対応して記憶されているメッセージをメッセージ文に変換するメッセージ文変換手段と、前記メッセージ文変換手段で変換したメッセージ文とともに、文書を送信する送信手段を有することを特徴としている。

【0007】また、請求項 2 の発明にかかる画像処理装置は、前記メッセージ登録手段が、複数の定型のメッセージを複数のバーコードに対応して登録することを特徴としている。

## 3

【0008】また、請求項3の発明にかかる画像処理装置は、前記メッセージ登録手段が、対応するバーコードに対してメッセージのみを変更するメッセージ変更手段を有することを特徴としている。

【0009】また、請求項4の発明にかかる画像処理装置は、前記メッセージ記憶手段が記憶しているメッセージから必要なメッセージを選択するメッセージ選択手段を有することを特徴としている。

【0010】また、請求項5の発明にかかる画像処理装置は、前記メッセージ記憶手段が記憶しているメッセージの内容を確認するメッセージ記憶内容確認手段を有することを特徴としている。

【0011】また、請求項6の発明にかかる画像処理装置は、前記バーコードが、バーコードから読み取る数値または、バーコードから読み取る数値およびバーコードの色によりバーコードの認識をすることを特徴としている。

## 【0012】

【発明の実施の形態】以下、添付図面を参照して本発明の実施形態を詳細に説明する。図1は、本発明の画像処理装置の一実施例の構成を示すブロック図である。図1において、カラーファクシミリ装置1は、ROM2や、イメージRAM3や、ワークRAM4や、ハードディスク5などからなる記憶部6と、カラーイメージを記録するカラープリンタ7と、カラーイメージデータ中のバーコードおよびその色を判別し、かつカラーイメージデータの加工・修正作業を行うことができる画像データ処理部8と、カラーイメージデータの圧縮・伸長を行うCODEC9と、FAXモデム10と、カラー液晶表示パネルなどからなる表示装置11と、各種の制御情報等を入力することができるキーボード12と、送信原稿等をカラーイメージデータとして読み取ることができるカラーキャナ13と、装置全体の制御を行うCPU14と、通信回線に繋げるNCU15とを備え、構成されている。

【0013】記憶部6におけるROM2は、CPU14が実行するプログラム等が格納される。イメージRAM3には、カラーキャナ13によって読み取られ、かつA/D変換されたRGBビットイメージを一時格納することができる。ワークRAM4には、画像データ処理部8で加工・修正されたカラーイメージデータやCODEC9で圧縮したデータ等の各種データを一時的に保存する。ハードディスク5は、後述する各種メッセージ文とこれに対応づけられたバーコード情報からなるメッセージ文登録データや、各種プログラム等を記憶する。

【0014】カラープリンタ7は、ファクシミリ送信されてきたイメージやカラーキャナ13によって読み取られたイメージなどを記録紙にプリントする。FAXモデム10は、NCU15を介して、たとえば、電話回線、デジタル回線等の通信回線16と接続し、送信信号

## 4

を通信回線16に乗せるために変調し、逆に通信回線16から送られてきた受信信号を復調する。NCU15は、通信回線16を介して接続されている交換器と、NCU15を含むカラーファクシミリ装置1との間で所定の手順や情報のやりとりを行う。

【0015】上記のような構成を備えるカラーファクシミリ装置1において、送信原稿に、あらかじめ登録しておいたバーコードによるバーコード領域を設けておくことにより、送信するべきカラーイメージデータにおける上記バーコード領域を、自動的にこのバーコード情報と対応づけられて登録されているメッセージ文に変換し、送信原稿の作成の簡略化をはかるものである。以下、フローチャートに基づいて、CPU14が行う制御動作について説明する。

【0016】図2は、図1に示す画像処理装置のメッセージ文登録の動作の流れを示すフローチャートである。このフローチャートは、所望のバーコードに対応づけてメッセージ文を登録する手順を示している。まず、ユーザ設定モードが選択されたかどうか判断される、ユーザ設定モードが選択されていない場合には(S11のNO)、表示装置11に、あらかじめROM2に記憶させておいたいくつかの定型文が表示される(S12)。ユーザは、キーボード12を操作して、上記表示された定型文の番号を選択したり、カーソルを所望の定型文に移動させて実行キーを押下する等して、上記いくつかの定型文の中から登録したメッセージ文を選択する(S13)。メッセージ文の選択の後、上記選択したメッセージ文に対応づけるべき所望のバーコードの番号情報を選択する(S15)。

【0017】このようにして、ユーザが選択したバーコードの番号情報に対応づけられたメッセージ文M1、M2、M3は、ハードディスク5に蓄積される。ここでは、例としてメッセージ文は3個表示したが、3個に限るものではなく、必要個数のメッセージ文を設置できる。

【0018】ユーザ設定モードが選択されている場合には(S11のYES)、ユーザによるメッセージ文の入力を受け付ける(S14)。詳しくは、ユーザは、キーボード12を操作して、装置のもつワードプロセッサ機能を使用するなどして、所望のメッセージ文を入力する。こうして入力されるメッセージ文は、確認のため、表示装置11に表示される。次いで、上記と同様に、入力された、メッセージ文に対応づけるべきバーコード番号が選択される(S15)。こうしてユーザが選択したバーコードの番号情報に対応づけられたメッセージ文M1、M2、M3は、ハードディスク5に蓄積される。

【0019】図3は、図2に示すバーコードに対応したメッセージ文の実施例を示すバーコード対応メッセージ文の登録図である。図3において、選択したバーコードに対応づけられて登録されたメッセージ文M1、M2、

## 5

M3の例が示されている。図3では、符号M1には、バーコード1に対応づけて、図2のフローチャートのあらかじめROM2に記憶させておいたいくつかの定型文の表示であるS12、およびこの定型文よりS13で選択された挨拶文が登録されている。また図3において、符号M2には、バーコード2に対応づけて、図2のフローチャートのS14においてユーザによって任意に入力された宛先文が登録されている。

【0020】図3において符号M3には、バーコード3に対応づけて、図2のS14においてユーザによって任意に登録された簡易挨拶文が登録されている。各メッセージ文は、テキストデータやイメージデータで記憶されているメッセージ文がテキストデータで記憶されている場合は、メモリの容量を少なくすることができ、送信するときにデータを符号化すればよい。メッセージ文がイメージデータで記憶されている場合は、MH符号に圧縮しておくことによってメモリの容量を少なくすることができ、そのまま原稿に付加して送信することができる。

【0021】このメッセージ文M1、M2、M3は例であり、メッセージ文M1にユーザによって入力された宛先文が登録され、メッセージ文M2にユーザによって入力された宛先文ではなく、定型文が選択されて登録されてもよいように、任意にメッセージを登録することができる。

【0022】図4は、図1に示す画像処理装置のファクシミリ送信の動作の流れを示すフローチャートである。カラーファクシミリ装置1によって送信原稿をファクシミリ送信する場合、そのファクシミリ原稿の中に、すでに登録されているメッセージ文と対応するバーコード1、バーコード2が、たとえばバーコードが印刷されたシールを貼り付けるなどによって付される。

【0023】図5は、図1のカラーファクシミリ装置の一部定型化されたFAX送信票である。送付先欄に、具体的な送付先を記入するかわりに、図3の符号M2に登録されている宛先文と対応するバーコード2が施され、挨拶文が入るべき位置に、図3の符号M1において登録されている挨拶文と対応するバーコード1が施されている。図6は、図5に示すFAX送信票の送付先および本文の挨拶文がバーコードから、このバーコードに対応したメッセージ文に変換された例である。

【0024】このファクシミリ送信の動作の流れを図4、図5および図6を参照して説明する。この送信原稿がカラースキャナ13に読み取られると(S21)、そのカラーイメージデータは画像データ処理部8内でバーコード領域判別がされる(S22)。上記のように判別された領域を、そのバーコード1、バーコード2と対応するメッセージ文M1、M2に変換する(S23)。その結果、図5に示されるような送信原稿は、イメージデータ上、図6に示すような送信票になる。

【0025】本実施形態においては、図6に示される送

## 6

信イメージデータを、確認のために表示装置11に表示する(S24)。また、送信イメージデータをカラープリンタ7によって記録媒体上に記録して出力するようにしてもよい。この場合、表示されたイメージデータに不都合があれば、ユーザは、キーボード12を操作するなどしてデータを修正することができる。こうして送信可能なデータが完成した段階において、FAX送信が行われる(S25)。具体的には、このカラーイメージデータは、CODEC9で圧縮され、FAXモデム10、NCU15を介して相手ファクシミリ装置に送信される。

【0026】

【発明の効果】以上のように、本発明によれば、送信原稿またはファクシミリ原稿に、あらかじめ登録されているメッセージ文と対応づけたバーコードシールを貼り付けておくことにより、メッセージ文を実際に記入しなくても、所望のメッセージ文が記載された状態でのカラーイメージデータを簡易に作成することができる。また、仮に長大なメッセージ文であっても、これを比較的小さな領域ですむバーコードで置き換えることができるので、カラースキャナによる送信原稿の読み取り時間が実際にメッセージ文を記入した原稿を読み取る場合に比較して短縮される。

【0027】また、本発明によれば、上記のようにして簡易に作成されたメッセージ文入りの図形や記号を含むカラーイメージデータを、簡便に相手画像処理装置に送信することができる。したがって、送信原稿の作成時間および原稿読み取りの時間を含めたファクシミリ操作時間がそれだけ短縮され、効率的なファクシミリコミュニケーションをはかることができる。

【0028】また、本発明によれば、定型メッセージ文から所望のメッセージ文を選択してこれにバーコードを対応づけて登録することができるので、上記効果に加え、メッセージ文の登録操作が簡便に行えるという効果を奏することができる。

【0029】また、本発明によれば、ユーザが任意に入力したメッセージ文を、これに対応するバーコードとともに登録しておくことができるので、上記効果に加え、ユーザに対する送信原稿作成時の利便性がさらに高められるという効果を奏することができる。

40 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の画像処理装置の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】図1に示す画像処理装置のメッセージ文登録の動作の流れを示すフローチャートである。

【図3】図2に示すバーコードに対応したメッセージ文の実施例を示すバーコード対応メッセージ文の登録図である。

【図4】図1に示す画像処理装置のファクシミリ送信の動作の流れを示すフローチャートである。

50 【図5】図1に示す画像処理装置の一部定型化されたF

A X送信票である。

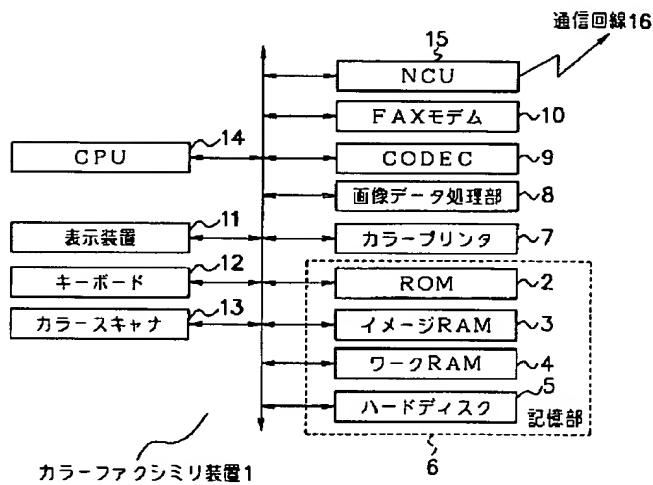
【図6】図5に示すFAX送信の案内の一例を示すFAX送信票である。

【符号の説明】

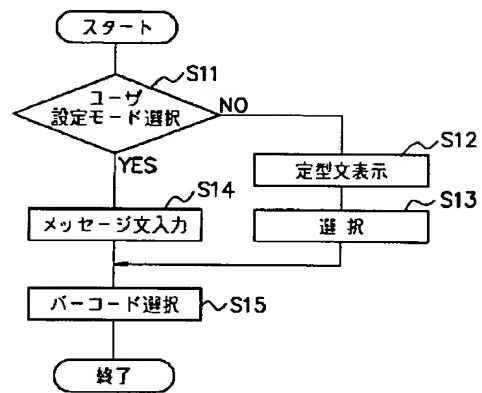
- 1 カラーファクシミリ装置
- 2 ROM
- 3 イメージRAM
- 4 ワークRAM
- 5 ハードディスク
- 6 記憶部

- 7 カラープリンタ
- 8 画像データ処理部
- 9 CODEC
- 10 FAXモデム
- 11 表示装置
- 12 キーボード
- 13 カラースキャナ
- 14 CPU
- 15 NCU
- 16 通信回線

【図1】



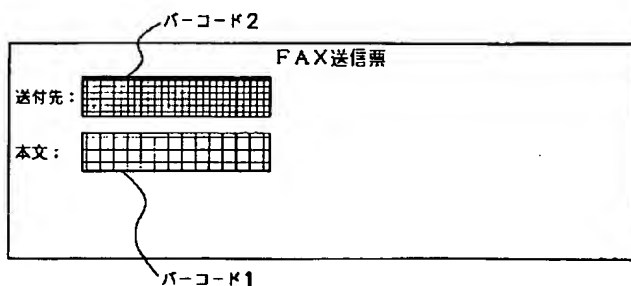
【図2】



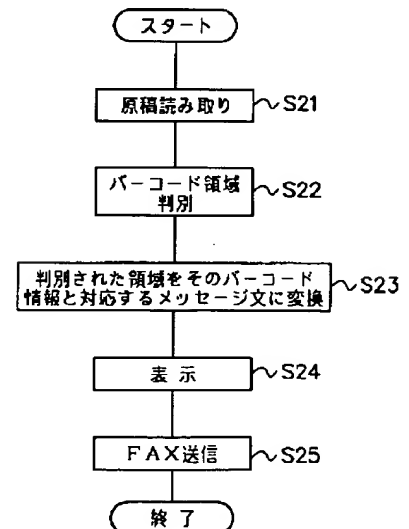
【図3】

バーコード情報	メッセージ文登録内容	符号
00000000000000000001	XXXXXXXXXXXX	M1
00000000000000000002	XXXXXXXXXX YYYYYYYYYYYY	M2
00000000000000000003	XXXXXXXXXX YYYYYY ZZZZZZZZZZ	M3

【図5】



【図4】



【図6】

	FAX送信票
送付先: XXXXXXXX YYYYYYYYYY	
本文: XXXXXXXXXXXX	